

「特別養護老人ホームしんがい」 地域連携情報

特別養護老人ホームしんがい

施設長 田口繁則

先般、近畿大学附属広島中学校福山校(佐波町)の3年生3人が、当施設を訪れ職業体験をしました。

この取り組みは、地元企業への関心を高めてもらうため、福山商工会議所が福山市や就職情報会社と連携し初めて企画された事業で、福山市内の各事業所において約160人が体験したそうです。

特養しんがいで「フィールド・スタディ」と題して生徒の皆さんに新涯学区や高齢者施設について紹介し、その後、利用者さんとのふれあい体験を行っていただきました。

新涯学区の素晴らしさを理解していただくために、新涯公民館の若井館長から「地域における連携の大切さ」について約20分間のお話をいただきました。その概要をご報告いたします。

— 公民館長 —

新涯学区は、昔は田畑が多く農業に従事される方が多い状況でしたが、現在は多くの住宅が建築され学区としては市内で2番目に人口が多いところ。また、高齢化率も市全体が約28%であるのに対して、新涯学区は約18%と若い人が多く活気みなぎる地域です。

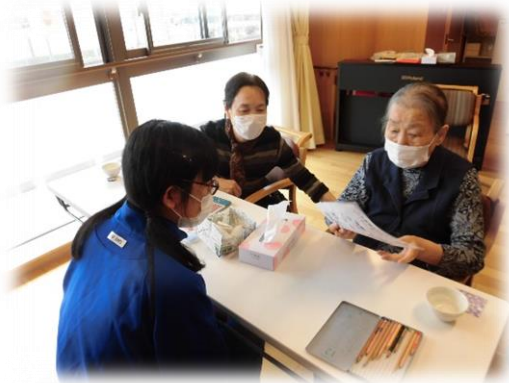
2016年に「誰もが大切にされ、住みよい安心・安全なまちを地域の皆さんと協働で作っていくこと」を目的に、新涯学区まちづくり計画が策定され、この計画に基づき様々な事業に取り組んでいます。

その一環として、昨年度は、特養しんがいの辰川理事長に「介護予防フレイル」に関する講演を行っていただきました。また、地域の良さをより分かりやすく理解してもらうために「笑顔あふれるまち新涯マップ」や「新涯いろはカルタ」を作りました。新涯150年の歴史を体感してもらうとともに、転入された人にとっても新涯が身近に感じると喜んでいただいております。

「特養しんがい」も開設5年になろうとしておりますが、学区の行事に積極的に参加していただき、良い関係づくりができております。その取り組みの一つとして、今年度は、特養しんがいと小学校の子どもたち、地域の人が協力して飛沫パネル50枚を作成し、特養しんがい、公民館、小学校に提供し、感染防止対策に活用されています。特養しんがいは、こうした取り組みを通して、地域との共生をめざしておられるのだと受け止めております。

まちづくりの基本は「絆」であると思っております。子育て家庭や高齢者の見守りも、家族だけでなく地域の絆を育むことにより地域で対応できることが望ましいと考えており、このことは、災害時における相互支援の取り組みにもつながるものです。新涯地域は、干拓によってできた土地であり、海抜0メートル地域です。地域の人が一番不安に思っていることは、大地震による津波の被害です。被害を軽減するためには、地域の人が連携しお互いに協力しあって、緊急時に対応できる仕組みづくりが大きな課題と考えています。これからも「笑顔あふれるまち新涯」の創造に向けて「絆を育み、支え合い、誰もが住みよい安心・安全なまちづくり」に取り組んでまいります。

— 特別養護老人ホームしんがい 施設長 —



職業体験の様子



— 特別養護老人ホームしんがい 施設長 —

館長さんには、前日に依頼したにもかかわらず、職業体験に訪れた生徒さん達に、地域の取り組みの素晴らしさを熱く語っていただきました。受講後、生徒たちに感想を聞いたところ「公民館の活動に興味を持ちました。特にお化け屋敷の取り組みには参加したい。」「新涯の歴史を聞いて、協力し合うことが大切だとおもしろい。」「などの意見を聞かせてもらいました。」

私たちは、地域の活動にも積極的に取り組み、地域の皆さんと共に住んで良かった、住みやすい新涯に貢献できるように、絆を大切にしていきたいと思います。

こんにちは！

生活支援コーディネーターです

皆さんこんにちは！

私は、今年度より新涯学区の生活支援コーディネーターとして関わっている池田と申します。

生活支援コーディネーターは、高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるような地域づくりを、地域の皆さんと一緒に考えていく役割を担っています。地域のサロンを訪問したり、地域の皆さんのお話を伺いながら生活していくうえでの困りごとを把握したり、困りごとを解決するために地域の皆さんと一緒に考える場を作ったりしています。住民さん同士の見守りや居場所づくりなど地域内の支え合いを皆さんと一緒に考え、みんなのできる、いきなりたいと思っておりますので、よろしくお願ひします！

「くわい喫茶サロン」に訪問しました！

今年度に入り、毎週水曜日に新涯公民館で行われている「くわい喫茶サロン」にお邪魔しました。緊急事態宣言発出のために、今年度もサロンの中止を余儀なくされる期間もありましたが、十月から再開されています。

「くわい喫茶サロン」は、参加者の方が来たい時に来て、参加者の方同士で会話を楽しむことができるサロンという印象です。現在、感染対策のために設置されている「アクリル板」これは、新涯小学校の児童と一緒に製作されたものだというお話を聞きました。製作にあたっては、学区の住民さんのお力も借りられたとのこと。サロンに小学生やさまざまな世代の住民さんが関わっているというのはとても珍しいです。それだけ地域に根付いたサロンとなっていることを嬉しく思いました。コロナという未曾有の出来事の中でも、関わりを持つことのできる「地域の力」とも素敵なことだと感じています。

「社会参加」が大切です！

身体を動かすこと、栄養に気をつけることとともに健康寿命を延ばすために大切だと言われていることが「社会参加」です。サロン活動に参加したり、自分の経験を活かすことができる活動を見つけたり、「やりたい！」「やってみたいなあ」という活動に取り組んでみましょう。もし、やりたいけど何から始めたら良いかわからないということがあれば、一緒に考えたいと思いますので、ぜひ声をかけてください。

福山市社会福祉協議会

福祉のまちづくり課

生活支援コーディネーター 池田

☎ 084-928-1333

